

# 平成20年度事業報告書

学校法人新潟青陵学園

# 目 次

序文 .....	1
1 教育方針・教育目標 .....	3
2 沿革 .....	7
3 設置する学校の概要 .....	8
1 ) 設置する学校・学部・学科等 .....	8
2 ) 当該学校・学部・学科等の入学定員、学生数の状況 .....	9
3 ) 役員・教職員の概要等 .....	10
4 事業の概要 .....	12
1 ) 当該年度の緊急対策の概要 .....	12
2 ) 当該年度の事業（経営）の概要 .....	12
3 ) 当該年度の主な事業の目的・計画 .....	19
4 ) 当該計画の進捗状況等 .....	22
5 財務の概要 .....	28
1 ) 平成20年度決算額 .....	28
2 ) 経年比較等 .....	29
3 ) 過年度の資産総額（純資産額）の推移 .....	31

# 平成20年度事業報告書

学校法人新潟青陵学園

平成20年7月1日に、教育基本法第17条に規定する「教育振興基本計画」が閣議決定された。基本計画は、今後5年間の取り組むべき施策を示すものであり、高等教育にあっては各大学が自律的に選択した教育理念に基づき、自らの個性・特色を明確にした上での「教育活動の質保証」を求めている。また、私学助成の総合的な支援、私大の教育研究の振興、学校法人に対する経営支援なども掲げている。

一方、18歳人口は平成4年206万人のピーク時以降は減少傾向が続いており、今では120万人台である。この間の大学数は765校にまで膨れあがってきている。過去10年間に於いて国立は13校減り、公立29校、私立145校が増えて、全体で161校の増加となった。また、私大の入学定員未充足の大学数は10年前の35校から266校（私大全体の47.1%）、短大181校から243校（私立短大全体の67.5%）に増加して、厳しい経営環境を招来している。

私大政策に目を向けると、私立大学等の運営に必要な基盤的経費の充実、各大学の個性・特色に応じた支援、定員割れ改善のための経営計画に対する支援、施設整備に対する補助、個人寄付者の控除限度額の拡大、相続財産の寄付が活発化する税制上の配慮を示すなど様々な大学政策が講じられつつある。

国とりわけ財政当局は、教育の質向上、地域活性化といった今日的な課題に取り組む大学に支援すべきとの考え方を強くしている。文部科学省もこの考えにそって挑戦することを求めている。加えて、競争的な資金や戦略的な資金が私学助成とは別途にあるとしている。まさにこれらの制度活用は各大学の経営戦略に委ねられていると言って過言でない。

競争的な資金や戦略的な資金の最たる教育改革支援経費（GP）から、平成20年度に始まった「戦略的大学連携支援プログラム」に引き続き、さらに平成21年度からは新入学生の補完教育、初年次教育などの教育の質の保証のための取組みを複合的に実施する取組みへの新たな支援方策「学士力確保と教育力向上プログラム」の導入を決定している。

また、中央教育審議会では、教育振興基本計画に基づき大学制度と教育の在り方の審議と答申（平成20年12月24日「学士課程教育の構築に向けて」）を行った。答申では入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）に加えて、教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）や卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）といった基本方針が、各大学の個性・特色の根幹をなすものとして、各大学においてこれを明確化するよう答申では強調している。さらに、達成目標の明確化も強調しており各大学には社会から評価される大学づくりを目指しての戦略が求められている。さらにまた、戦略を実行できる組織能力と人材力を高める努力も求められている。

これら教育をめぐる状況のもとに本学園の平成20年度事業は近年にない積極的な展開が行われた。大学院の充実、認定看護師研修センターの発足、学生生活のための施設内容の充実に向けて平成19年度から建築工事を進めてきた6号館校舎が平成20年9月15日に完成し、9月24日に竣工式を挙行。施設設備費8億円、建物規模は3,160m<sup>2</sup>の事業規模となった。

3月には大学基準協会による大学評価および認証評価の結果、大学基準に適合と認定されて、大学基準協会の正会員校となった。続いて同月には、新潟青陵大学の学術研究の活性化を図り、会員相互の緊密な交流による学際的、かつ、独創的な研究成果を挙げるとともに、その成果を社会に還元し、地域に貢献することを目的とした新潟青陵学会が発足した。

さらには、新潟青陵大学を代表校にして県内10大学が申請した「共生型大学連携による新潟県の人材確保・養成の短期的及び包括的施策による地域貢献」が文部科学省の「戦略的大学連携支援事業」(広域型)に採択された。また、競争的な研究資金である科学研究費補助金(科研費)においても3件が採択された。

6号館校舎の完成に合わせて新潟青陵大学認定看護師研修センターが、平成20年10月1日に開設し、6か月間の研修期間を経て、実践的に皮膚損傷や人工肛門を持つ患者のケア方法を身に付けた一期生24人の修了生を送り出した。

また、新設の大学院として始めて臨んだ臨床心理士資格試験では、合格率78%の結果を出し、後輩の大学院生にも大きな刺激をもたらした。さらに、社会人の職業キャリア形成に応えるために、学校教育法で規定する履修証明制度を活用した人材養成機関である「新潟青陵リカレント・エデュケーション大学」を短大の教学組織に設置した。

次に、禁煙教育の展開によって喫煙率は、11.5%(平成15年)から5.0%(平成20年度)に改善した。さらに4月1日の禁煙宣言によって大学キャンパスは全面禁煙となって禁煙教育の所期の目的は達成した。また、省エネ・地球環境保全タスク・フォースの提言によりCO<sub>2</sub>削減に向けての環境保全対策も進んだ。

これらの様々な事業展開に加えて、大学院・大学・短大の全学的なFD活動としての授業公開・授業見学を実施した。このFD活動は、学生の顧客満足の実現を基本に据えて、授業改善を目的にしたものである。また、職員にあってもOJT(業務訓練)に加えてSDの組織的な取り組みが進んでいる。

高等学校にあっては、生徒確保策として平成20年度途中に導入したスクールバス運行事業の結果、運行地域での平成21年度入学者が前年度比38人増となり、成果が認められた。入学後の転退学者については、その増加に歯止めをかけるため保護者との連携や教育相談態勢の強化に努めた結果、前年度比18人の減少となった。

また、進路指導面では大学進学率の向上が課題であったが、平成20年度末の大学進学率は、50.7%となり、はじめて50%の大台を超えた。教職員については、これまで生徒、保護者に限って実施してきた学校評価を教職員にも拡大して実施した結果、生徒及び保護者の満足度と教職員の意識等を比較・分析することができるようになり、今後の教育活動に役立てることが可能となった。さらに、20年11月には、国、社、数、理、英の5教科で「授業公開」を実施し、教員の資質向上を図った。

以上のように平成20年度の諸事業の実施は、着実に進展しその実績を残すこととなった。なお、その他の事業実績は、「事業の概要」「財務の概要」の項において詳しく記載することにした。

次に、教育方針・教育目標、沿革、設置する学校の概要、事業の概要、財務の概要を示す。

## 1 教育方針・教育目標

### <新潟青陵大学大学院・新潟青陵大学・新潟青陵大学短期大学部>

本学では、“教育方針・教育目標”を設定して、「本学が目指す学生の姿」「本学が目指す教職員の姿」並びに本学の設置母体である新潟青陵学園の「本学園が目指す学園の姿」の三つのアドミッション・ポリシーを以下のように提示している。

#### 本学の教育方針・教育目標

##### 一 本学が目指す学生の姿

- 1 学生は、尊敬されるに足る人間として自ら恃(たの)むところを確かにするとともに、自己の実現に努力を惜しまない。
  - (ア) 自他の生命に対する畏敬の念を持ち、お互いに生かされ、助けあっていることに感謝し、広い視野と慈しみの心を持って人間及び社会の本質を理解できる。
  - (イ) 様々なものに感動する心を持ち、それを言葉や音楽、絵画、身体などを通じて創造的に表現できる。
  - (ウ) 周囲の現実を把握し、社会にあっては上司、同僚、家族、学内にあっては教職員、友人などと認識を共有し、かつ自己の意見を発表してこれを理解させることができる。
- 2 学生は、社会人として必要な基本的教養と礼儀を身に付けている。
  - (ア) 隣人に対して、笑顔で気持ちよく挨拶することができる。
  - (イ) 相手の立場を尊重し、意見に耳を傾け、時間や約束が守れる。
  - (ウ) 自己責任の原則を理解し、自分の態度や習慣、身だしなみを客観的に評価できる。
  - (エ) 弱者を助けるためや、住みよい環境整備のために自らの犠牲をいとわないなど、公共の意義を理解している。
  - (オ) 生涯にわたって継続して培う意義がある趣味を持っている。
- 3 学生は、新入社会人として必要な知識、技能を身に付けている。
  - (ア) 専門職としての見識と能力を保持し(必要な検定や資格を取得する。)さらにその向上に努めている。
  - (イ) 国内外の政治、経済、社会事情について、新聞などにより、周囲の会話に参加できる程度の一般常識がある。
  - (ウ) 人前で3分間程度のスピーチが原稿無しでできる。
  - (エ) 読解、計算などの基本的能力に自信を持ち、少なくとも一つ以上の外国語について日常基礎会話ができる。
  - (オ) 専門の業務に必要なコンピュータによる情報処理能力を身に付ける。

##### 二 本学が目指す教職員の姿

- 1 本学教職員は、その目的意識(志)言動、姿勢をもって、学生に感動を伝えることを最大の価値とし、学生から敬愛され、評価される存在である。
  - (ア) 学生の人格と立場を尊重し、学業遂行、授業理解支援のために最善の努力を惜しまない。

- (イ) 授業内外の指導、事務の応接などを通じて、人格的な感化を及ぼす存在である。
  - (ウ) 学生の態度や習慣、身だしなみを指導するにあたって、率先してその範を示す存在である。
- 2 本学教職員は、地域に貢献し、評価される本学の、価値ある不可欠の構成員である。
- (ア) 本学が目指す姿を自らのものとし、その達成に全力を尽くしている。
  - (イ) 自らの属する学部、学科、部課その他のグループ全体の向上、発展のために創意、工夫と献身的努力を惜しまない。
  - (ウ) 本学において、上司、同僚及び部下から敬愛される存在である。
  - (エ) 地域社会において、よき隣人であると共に、本学を代表して尊敬される存在である。
- 3 本学教職員は、その研究分野又は担当する事務の分野において、本学内外から評価され、尊敬される存在である。

### 三 本学園が目指す学園の姿

- 1 本学園は、上記の項目に掲げた資質を備えた学生の育成に全力を尽くすとともに、地域の社会人に開かれた存在である。
- (ア) 理事会を中心とするリーダーシップの発揮と教授会、職員会議などによる教職員の意見申し出との調和が図られている。
  - (イ) 保護者、卒業生代表、地域、職域代表などからの意見を積極的に吸い上げ、地域に密着する教育目標の設定など学校運営の重要事項に反映している。
  - (ウ) 科目履修など、社会人教育の充実が図られている。
  - (エ) 公開講座、図書館利用など市民の便宜が図られている。
  - (オ) 周辺、近隣地域との結びつきに支えられている。
- 2 本学園は、学生及び地域社会を顧客とし、顧客満足を徹底している。
- (ア) 専門的、目的的教育に関し、地元企業の発展の方向に即している。
  - (イ) 就職活動支援その他学生の面倒見の良いことで知られている。
  - (ウ) 学生の専門的な資格又は検定の取得支援の対策が充分である。
- 3 本学園は、教職員の十分な満足を得ている。
- (ア) 本学園が顧客満足の成果を収め、教職員の創意工夫が生かされているなど、教職員に自己実現の満足感がある。
  - (イ) 本学園が内外の環境変化に対応して発展する意欲と能力を持ち、地域が誇りとし得る学園を目指すなど学園の将来に不安がない。
  - (ウ) 環境問題など今日的な関心事に率先して対応する積極性がある。
  - (エ) 学園の情報は充分に開示され、学園内の意思の疎通に支障がない。
  - (オ) 教職員は、能力とその成果によって酬いられ、かつその待遇は、県内類似の職種に比して劣るところがない。
  - (カ) 男女共同参画社会実現などの勤務環境が保証され、阻害要因是正の為の苦情処理制度が整備されている。

## 養成しようとする人材像及び教育目標

### 【新潟青陵大学大学院臨床心理学研究科】

本学大学院臨床心理学研究科臨床心理学専攻の教育研究上の目的は、臨床心理学とその関係分野において実践的な教育と研究を通じ、高度な専門知識を修得させるとともに、職業人として自律した心理臨床家を育成することにある。

### 【新潟青陵大学看護福祉心理学部看護学科】

看護学科の教育上の目的は、看護に必要な知識と技術を修得させるとともに、広く深い教養と豊かな人間性を培い、看護の専門職として国際社会において貢献することのできる人材を育成することにある。

### 【新潟青陵大学看護福祉心理学部福祉心理学科】

福祉心理学科の教育上の目的は、生命尊重・人間尊重の理念に基づき、人々のクオリティ・オブ・ライフの向上を図るため、福祉学・心理学・社会学等の専門知識・技術の応用力、および、豊かな感性、国際感覚を持ち合わせた専門家を養成することにある。

### 【新潟青陵大学短期大学部人間総合学科】

人間総合学科の教育上の目的は、人生に目的（志）を持ち、それを実現するに十分な表現能力や豊かな感性とライフサイクルに対応して地域社会に貢献できる知識や技術（多様な資格と検定）を身につけた人材を養成することにある。

### 【新潟青陵大学短期大学部幼児教育学科】

幼児教育学科の教育上の目的は、幼児教育分野における実践的教育を通して、万物に対する深い愛と広い視野、豊かな感性をもって保育を創造することができる専門家を養成することにある。

## <新潟青陵高等学校>

高等学校では、“校訓”及び“教育目標”に基づくとともに、「学校運営の方針（ビジョン）」を設定して教育活動に当たっている。

### 校 訓

「至誠」（まごころ）

### 教育目標

意欲的な学習態度を身につけ、個性豊かな創造力を養う。

明るい学校生活をとおして友情と人間愛を養う。

自主・自律の精神を養い、勤労意欲を高める。

心身ともに健康な人間を育成する。

## 学校運営の方針（ビジョン）

### 1 基本方針

- (1) 校訓「至誠」を胸に、自信と自覚を持って生きる志の高い生徒を育成する。
- (2) 生徒・保護者のニーズに応え、大学進学をはじめとする進路希望の実現に努める。

### 2 具体的方針

#### (1) 定員の確保

積極的な生徒募集活動により本校のPRに努め、入学定員を確保する。  
入学後のきめ細かい指導で転退学防止に努め、在籍生徒定員を確保する。

#### (2) 充実した高校生活の創造

本校の一員となった生徒が、自信と自覚を感得できるような指導に努める。  
「あいさつ・身だしなみ・時間厳守」を生徒に良く理解させ、全教職員で指導する。  
基礎学力向上のため、予習 授業 復習の学習サイクルの徹底に努める。  
部活動を一層活性化し、生徒の居場所づくりと文武両道の気風の確立に努める。

#### (3) 希望する進路の実現

生徒が夢や目標、高い志を持って進んでいけるよう、キャリア教育に努める。  
全ての生徒の進路希望の実現を目指し、きめ細かい進路指導を行う。  
大学・短大への進学について、生徒・保護者の希望どおりの実現を目指す。

#### (4) 保護者との連携

保護者との連携を強め、保護者から理解され信頼される学校づくりに努める。  
生徒の生活習慣・学習習慣の確立のため、学校と保護者が協力して当たる。

#### (5) 教職員の研修等

「教育は人なり」の観点から教職員の研修の機会を拡充し、資質の向上に努める。  
教職員、生徒、保護者による学校評価を実施し、その結果の活用に努める。

## <新潟青陵幼稚園>

本園は、シュタイナー教育を方針とし、「意欲を持って取り組む子ども、やさしく、賢く、よく遊ぶ子ども」を教育目標に掲げ、人格の基礎を形成することを目指している。また、幼稚園教育要領「遊びを通しての指導を中心として、ねらいが総合的に達成されるようにすること」を踏まえて、“遊び”を中心とした指導を行っている。

以上の“教育方針・教育目標”の下に本園では、以下のアドミッション・ポリシーを提示している。

### 一 本園が目指す幼児の姿

#### 1 主体的に意欲をもって物事に取り組む子ども

幼児が自らの想像力により遊びを作り出していくことができるように、幼児の興味関心を捉えた環境を設定し、じっくりと取り組むことができる場、時間的空間を確保

する。

## 2 友だちを思いやり一緒にいることを楽しみ、よく考え、よく遊ぶ子ども

良質な自然素材を使った環境を構成して、多用な経験を重ねることができるようし、遊びを通して、物の性質や数、量等を体験して知ることができるようにする。園内および周辺の自然に触れる機会を多く設け、幼児のセンス・オブ・ワンダー（神秘さや不思議さに目を見張る感性）を育む。ゆったりとしたリズムのある園生活の時間を設定し、幼児が他児と深いつながりを持ち、自分の気持ちを表現し、相手の気持ちを考えることができる豊かな人間関係を作ることができるようにする。

## 二 本園が目指す保護者の姿

- 1 幼児が安心して信頼する存在、模倣の対象として存在する
- 2 幼児一人ひとりの人格を尊重し、深い愛を持って接する
- 3 幼児がどのような状態であっても、幼児の気持ちに寄り添い、幼児の思いを理解する

## 2 沿革

明治33年 4月	下田歌子女史の帝国婦人協会新潟支会により、修業年限3か年の学校「裁縫伝習所」として呱呱の声をあぐ
7月	校名を「新潟女子工芸」と改称
43年 6月	西堀通り2番町に校舎新築
昭和13年 1月	財団法人組織に変更
19年 4月	校名を財団法人新潟高等実践女学校と改称
21年 4月	校名を財団法人新潟女子工芸学校と改称
23年 4月	学制改革により校名を新潟女子工芸高等学校と改称、併設中学校設置
26年 3月	私立学校法により学校法人組織に変更
32年10月	水道町1丁目に校舎新築移転
35年 4月	高等学校に普通科増設
36年 4月	高等学校の上に修業年限2か年の専攻科（短大の前身）を設置
37年 4月	高等学校に商業科増設
40年 4月	法人名を新潟青陵学園と改称、新潟青陵高等学校、新潟青陵中学校に校名を改称、新潟青陵女子短期大学を開学（被服科）
42年 4月	新潟青陵幼稚園を設置
43年 4月	短期大学に幼児教育科増設
45年 4月	新潟青陵学園寄宿舎（ひめまつ荘）新築
46年 3月	高等学校鉄筋4階建校舎増築竣工
47年 4月	高等学校鉄筋校舎増築、第2体育館新築竣工 短期大学に専攻科（服飾美術専攻、幼児教育専攻）増設
48年 1月	学園用地44,000m <sup>2</sup> を購入

昭和50年4月	短期大学被服科を服飾美術科に改称
57年4月	新潟青陵中学校廃止
61年3月	高等学校鉄筋4階建校舎(管理棟)新築
62年3月	高等学校鉄筋2層構造4階建体育館新築
平成3年4月	新潟青陵学園寄宿舎(ひめまつ荘)を廃止し、短期大学教育施設「3号館」に用途を変更
4年4月	短期大学服飾美術科を生活文化学科に、幼児教育科を幼児教育学科に改称、新潟青陵幼稚園を新潟青陵女子短期大学附属幼稚園に改称
5年4月	短期大学専攻科廃止
6年4月	高等学校被服科を生活服飾科に改称
8年4月	短期大学に福祉心理学科、国際文化学科増設
12年4月	新潟青陵大学(看護福祉心理学部看護学科、福祉心理学科)開学
12年10月	新潟青陵学園(新潟青陵高等学校)創立100周年記念式典挙行
13年5月	短期大学福祉心理学科廃止
15年5月	高等学校商業科廃止
16年4月	短期大学の名称を新潟青陵大学短期大学部に改称、人間総合学科増設、幼稚園の名称を新潟青陵幼稚園に改称
10月	大学キャンパスに校舎「5号館」新築
17年4月	新潟青陵大学福祉心理学科にソーシャルワーク、福祉ケア、子ども発達サポート、心理カウンセリングのコース制導入 短期大学部人間総合学科に人間総合、介護福祉のコース制導入 短期大学部生活文化学科、国際文化学科廃止
18年4月	新潟青陵大学大学院臨床心理学研究科臨床心理学専攻(修士課程)開設
19年3月	財団法人短期大学基準協会による平成18年度第三者評価の適格認定を受ける
5月	大学キャンパス隣接地1,326.16㎡を購入
20年3月	財団法人大学基準協会による平成19年度大学評価結果ならびに認証評価結果において大学基準に適合していると認定される。
9月	大学キャンパスに校舎「6号館」新築
10月	新潟青陵大学認定看護師研修センター開設

### 3 設置する学校の概要

#### 1) 設置する学校・学部・学科等

##### 新潟青陵大学

大学院	臨床心理学研究科(平成18年度開設)
看護福祉心理学部	看護学科(平成12年度開設)
	福祉心理学科(平成12年度開設)

新潟青陵大学短期大学部	幼児教育学科	(昭和43年度開設)
	人間総合学科	(平成16年度開設)
新潟青陵高等学校	生活服飾科	(昭和23年度開設)
	普通科	(昭和35年度開設)
新潟青陵幼稚園		(昭和42年度開設)

2) 当該学校・学部・学科等の入学定員、学生数の状況

ア、19年度(募集年度)および20年度(入学年度)

【新潟青陵大学大学院】

学 科	入学定員	1 年	2 年			計	収容定員	充足率
臨床心理学研究科	10	10	9	-	-	19	20	0.95

【新潟青陵大学】

学 科	入学定員	1 年	2 年	3 年	4 年	計	収容定員	充足率
看 護 学 科	80 3年次 10	86	81	82 9	82 10	350	340	1.03
福 祉 心 理 学 科	100 3年次 10	129	128	125 13	126 11	532	430	1.24
計	200	215	209	229	229	882	770	1.15

【新潟青陵大学短期大学部】

学 科	入学定員	1 年	2 年			計	収容定員	充足率
人間総合学科	200	259	250	-	-	509	400	1.27
幼児教育学科	130	130	129	-	-	259	230	1.13
計	330	389	379	-	-	768	630	1.22

【新潟青陵高等学校】

学 科	入学定員	1 年	2 年	3 年		計	収容定員	充足率
普 通 科	360	355	324	265	-	944	1080	0.87
生 活 服 飾 科	36	28	24	39	-	91	112	0.81
計	396	383	348	304	-	1035	1192	0.87

【新潟青陵幼稚園】

学 科	入学定員	3 才 児	4 才 児	5 才 児		計	収容定員	充足率
計	50	52	36	47	-	135	150	0.90

イ、参考：20年度（募集年度）および21年度（入学年度）の状況

【新潟青陵大学大学院】

学 科	入学定員	受験者数	合格者数	入学者数	入定充足率	収容定員	現 員	収容充足率
臨床心理学研究科	10	30	11	11	1.10	20	21	1.05

【新潟青陵大学】

学 科	入学定員	受験者数	合格者数	入学者数	入定充足率	収容定員	現 員	収容充足率
看 護 学 科	80	280	151	87	1.09	340	353	1.04
	3年次 10	19	13	10	1.00			
福 祉 心 理 学 科	110	483	278	136	1.24	440	541	1.23
	3年次 10	11	10	10	1.00			
計	210	793	452	243	1.16	780	894	1.15

【新潟青陵大学短期大学部】

学 科	入学定員	受験者数	合格者数	入学者数	入定充足率	収容定員	現 員	収容充足率
人間総合学科	200	317	283	261	1.31	400	514	1.29
幼児教育学科	130	411	164	142	1.09	260	271	1.04
計	330	728	447	403	1.22	660	785	1.19

【新潟青陵高等学校】

学 科	入学定員	受験者数	合格者数	入学者数	入定充足率	収容定員	現 員	収容充足率
普 通 科	360	1074	1021	372	1.03	1080	1009	0.93
生活服飾科	36	49	44	29	0.81	108	78	0.72
計	396	1123	1065	401	1.01	1188	1087	0.91

【新潟青陵幼稚園】

3才児			4才児			5才児			収 容 定 員	現 員	収 容 充足率
募集数	応募数	入園数	募集数	応募数	入園数	募集数	応募数	入園数			
46	46	41	若干名	5	5	若干名	3	3	150	138	0.92

3) 役員・教職員の概要等

ア、役 員（平成20年4月1日現在）

	氏 名	就任年月日	重任年月日	選任条項
理 事 長	関 昭 一	5. 4. 1	20. 4. 1	短大学長
常務理事	大 谷 一 男	6. 4. 1	18. 4. 1	理事会選任
理 事	坂 井 熙 一	3. 1.24	19. 4. 1	評議員会選任
理 事	石 本 隆太郎	14. 4. 1	18. 4. 1	同上
理 事	大 川 賢 一	19. 4. 1		理事会選任

理事	牧野庄三	20. 4. 1			理事会選任
理事	清水不二雄	18. 4. 1	19. 4. 1		大学学長
理事	半藤保	15. 4. 1	19. 4. 1		評議員会選任
理事	諫山正	17. 4. 1			同上
理事	宮沢稔	20. 4. 1			高等学校長
理事	小山明	15. 4. 1	20. 4. 1		評議員会選任
監事	大掛幸子	10. 4. 1	18. 4. 1		理事長選任
監事	赤羽良樹	19. 4. 1			同上
監事	藤田普	19. 4. 1			同上

監事は、理事会において選出した候補者のうちから、評議員会の同意を得て理事長が選任する。

イ、教職員（学長・校長・園長を含む）平成20年4月1日現在）

【新潟青陵大学大学院】

学 科	教授	准教授	助教	講 師		助手	計		職 員	
	専任	専任	専任	専任	兼任	専任	専任	兼任	専任	兼任
臨床心理学研究科	7	-	-	1	6	1	9	6	-	-
計	7	-	-	1	6	1	9	6	-	-

【新潟青陵大学】

学 科	教授	准教授	助教	講 師		助手	計		職 員	
	専任	専任	専任	専任	兼任	専任	専任	兼任	専任	兼任
看護学科	14	10	2	4	19	12	42	19	7	1
福祉心理学科	10	7	2	1	38	2	22	38	7	4
計	24	17	4	5	57	14	64	57	14	5

【新潟青陵大学短期大学部】

学 科	教授	准教授	助教	講 師		助手	計		職 員	
	専任	専任	専任	専任	兼任	専任	専任	兼任	専任	兼任
人間総合学科	7	13	1	-	38	-	21	38	10	2
幼児教育学科	5	3	1	2	25	-	11	25	7	1
計	12	16	2	2	63	-	32	63	17	3

【新潟青陵高等学校】

学 科	教諭	助教諭	講 師		助手	計		職 員	
	専任	専任	専任	兼任	専任	専任	兼任	専任	兼任
計	65	-	-	27	-	65	27	9	4

【新潟青陵幼稚園】

学 科	教諭		講 師		助手	計		職 員	
	専任	専任	専任	兼任		専任	兼任	専任	兼任
計	7	-	-	3	-	7	3	-	-

#### 4 事業の概要

##### 1) 当該年度の緊急対策の概要

本学園の資産運用は、バブル期以降の超低金利時代を背景に元本保証を前提に市中金融機関の円建預金を対象にして運用を図ってきた。6月のサブプライム騒動及びリーマンブラザの破綻以降の世界的金融危機で株式市況が低迷するようになり、多くの私立大学も未曾有の評価損を計上するやむなきに至った。このようなことから文部科学省は、資産運用に係る意思決定と執行管理の適正化の確立を求めてきた。これらは本学園の従来の資産運用の方針が、結果的に適切な選択であったと評価出来なくもないが、一方において株式市況の低迷は、従来の運用方針を見直す好機でもあった。本学園は文部科学省の指導方針に基づき、統制環境を整える見地から12月に資産運用管理規程を制定し、特別資産運用の対象に株式投資を可能にすることとした。特別資産運用の資産枠として、株式市況に連動する世界同時不況の影響から経済的困窮者の救済を前提に奨学助成引当特定資産5億円の創設を決定した。この資産運用枠で高配当利回りが期待される優良銘柄と投資信託フィデリティを選定取得した。

なお、奨学助成引当特定資産5億円を原資とする配当利回りと日本私立学校振興・共済事業団の授業料減免事業等支援経費（特別補助金）と一般財源を原資とした新潟青陵大学・新潟青陵大学短期大学部学費支援に関する規程も制定した。同規程は、経済的理由によって授業料納付が困難で、かつ、学業優秀と認められる者を予算の範囲内（平成21年度約2千万円、平成24年度約6千万円の予定）で救済しようとするものである。授業料免除は毎年度継続して申請することができるものの、授業料免除の期間は、当該年度1か年を原則として審査して行うことにしている。

##### 2) 当該年度の事業（経営）の概要

###### ア．新潟青陵大学

学生納付金収入は学生数の微増で前年比で3千891万円の増額決算となった。補助金収入も戦略的・大学連携支援事業費補助金の採択等もあって対前年比で6千884万円の増額となった。また、新たに認定看護師養成の看護職員臨床技能向上推進事業費の県費委託料405万円を決算した。2か年の継続事業として施工した6号館校舎建設費7億円のうち20年度支出額は3億5千万円で決算した。うち1億円は施設拡充引当特定預金を取り崩して充当し、市中金融機関から1億5千万円を借り入れ、残余の1億円は平成20年度の一般財源を以て充当し、短期大学部と費用按分して決算を行った。一方、人件費支出は、認

定看護師研修センターの教員増等もあって対前年比で2千93万円の支出増となった。教育研究経費支出にあっても戦略的大学連携支援事業費等の所要額の計上で2千393万円の増額決算となった。施設関係支出では6号館校舎建設費の当年度支払分3億5千万円及び2号館外壁改修工事費3千97万円をそれぞれ短期大学部と費用按分して決算を行った。設備関係支出にあっても6号館校舎関連設備の整備費を短期大学部と費用按分し、加えて戦略的大学連携支援事業費の新潟キャンパスネットテレビ会議システム等の初期投資額を含めて1億2千93万円で決算した。大学キャンパスは着実に満足度の高い施設・設備の内容に発展・進化した。また、経済的に困窮している学生を対象とした学費支援の原資を得ることを目的にした奨学助成引当特定資産への繰入支出5億円（株式および投資信託で運用）を短期大学部と費用按分して決算した。これらの繰入支出で前受金保有率は、前年度370.95%から287.74%に後退しているものの資金繰りは堅調に推移している。消費収支計算では校舎建設と設備投資に伴って基本金組入額は約2億8千679万円となった。その結果、消費支出に充当すべき消費収入は大幅に減額されたため4千523万円の消費支出の超過となった。積極的な経営展開の一次的な所産で、平成21年度からは消費収支が均衡する見込みである。人件費率が前年度57.10%から54.12%に改善し、経営の状況は極めて堅調に推移している。

【資金収支】

単位 千円

収入科目	金額	支出科目	金額
納付金収入	1,247,495	人件費支出	820,359
手数料収入	25,827	教育研究経費支出	238,566
寄付金収入	100	管理経費支出	111,988
補助金収入	239,021	債務保証損失支出	0
資産運用収入	3,367	借入金等利息支出	9,812
資産売却収入	0	借入金等返済支出	40,509
事業収入	6,562	施設関係支出	213,485
雑収入	10,468	設備関係支出	120,934
借入金等収入	81,018	資産運用支出	270,673
前受金収入	262,275	その他の支出	9,460
その他の収入	70,405	学校法人経費按分額	11,508
資金収入調整勘定	254,204	資金支出調整勘定	7,961
内部取引勘定	0	内部取引勘定	0
前年度繰越支払資金	901,678	次年度繰越支払資金	754,679
計	2,594,012	計	2,594,012

【消費収支】

収入科目	金額	支出科目	金額
納付金	1,247,495	人件費	829,764
手数料	25,827	教育研究経費	322,182
寄付金	458	うち、減価償却額	( 83,616 )
補助金	239,021	管理経費	115,468
資産運用収入	3,367	うち、減価償却額	( 3,479 )
資産売却差額	0	債務保証損失	0
事業収入	6,562	借入金等利息	9,812
雑収入	10,468	資産処分差額	2,901
		徴収不能額	0
帰属収入合計	1,533,198	債務保証損失引当金繰入額	0
基本金組入額合計	286,793	学校法人経費按分額	11,508
計	1,246,405	計	1,291,635
資金収支計算の前受金保有率(前年度)		当年度消費収入超過額	45,230
287.74% (370.95%)		前年度繰越消費収入超過額	281,448
		翌年度繰越消費収入超過額	326,678

[注] 補助金収入のうち国庫補助金238,466千円、地方公共団体補助金555千円

<概説>

学生数の確保も順調に推移し、資金繰りも安定的に推移している。人件費率の上昇傾向に警戒しつつも、引き続き、本学の特色づくりに鋭意努力するとともに経営戦略としてのグランドデザインとグランドデザインに基づく財政計画の立案も必要としている。6号館校舎完成後は、1・2・3号館の耐震改築を目指して、目減りした施設拡充引当特定資産の回復に向けて方策を講じる必要があると言える。また、将来の改築計画に向けた基本金組入の拘束性のある資金蓄積も検討を要する課題である。

イ．新潟青陵大学短期大学部

学生納付金収入は前年度並みの学生数を確保し前年比で46万円増の微増の決算となった。21年度の入学試験受験料を含む手数料収入130万円減、私立大学等経常費補助金を含む補助金702万円減と何れも前年度を下回った。なお、補助金の減少は補助対象経費の減少が影響したと言える。大学と一体で進めてきた2か年継続事業の6号館校舎建設費7億円のうち20年度支出額は3億5千万円で決算した。うち1億円は施設拡充引当特定預金を取り崩して充当し、市中金融機関から1億5千万円を借り入れ、残余の1億円は平成20年度の一般財源を以て充当し、大学と費用按分して決算を行った。人件費支出にあっては多年に亘り勤務した教職員の退職金等により対前年比で4千432万円の支出増となった。一方、教育研究経費支出は対前年比で881万円、管理経費支出は対前年比513万円とそれぞれ節減を果たす結果となった。施設関係支出では6号館校舎建設費の当年度支払分3億5千万円及び2号館外壁改修工事費3千97万円をそれぞれ大学と費用按分して決算を行った。設備関係支出にあっても6号館校舎関連設備の整備費を大学と費用按分し、加えて

戦略的大学連携支援事業費の新潟キャンパスネットテレビ会議システム等の初期投資額を含めて5千353万円で決算した。大学キャンパスは着実に満足度の高い施設・設備の内容に発展・進化している。また、経済的に困窮している学生を対象とした学費支援の原資を得ることを目的にした奨学助成引当特定資産への繰入支出5億円（株式および投資信託で運用）を大学と費用按分して決算した。これらの繰入支出で前受金保有率は、前年度258.29%から154.14%に後退しているものの資金繰りは堅調に推移している。因みに内部取引勘定の高校への貸付額の累計は2億7千988万円、幼稚園への貸付額の累計額は5千43万円で決算している。消費収支計算では校舎建設と設備投資に伴って基本金組入額は約1億6千636万円となった。その結果、消費支出に充当すべき消費収入は大幅に減額されたため5千610万円の消費支出の超過となった。積極的な経営展開の一次的な所産で、平成21年度からは消費収支が均衡する見込みである。人件費率が前年度56.91%から58.39%に後退（主要因は退職金）するものの、経営の状況は極めて堅調に推移している。

【資金収支】

単位 千円

収入科目	金額	支出科目	金額
納付金収入	774,620	人件費支出	539,982
手数料収入	16,818	教育研究経費支出	121,525
寄付金収入	0	管理経費支出	68,332
補助金収入	72,178	債務保証損失支出	2,258
資産運用収入	4,147	借入金等利息支出	9,431
資産売却収入	0	借入金等返済支出	45,091
事業収入	600	施設関係支出	181,770
雑収入	21,070	設備関係支出	53,532
借入金等収入	68,982	資産運用支出	231,643
前受金収入	291,820	その他の支出	10,177
その他の収入	96,290	学校法人経費按分額	6,675
資金収入調整勘定	306,443	資金支出調整勘定	4,195
内部取引勘定	265,982	内部取引勘定	332,051
前年度繰越支払資金	742,022	次年度繰越支払資金	449,814
計	2,048,086	計	2,048,086

【消費収支】

収入科目	金額	支出科目	金額
納付金	774,620	人件費	519,418
手数料	16,818	教育研究経費	165,039
寄付金	122	うち、減価償却額	( 43,513 )
補助金	72,178	管理経費	73,793
資産運用収入	4,147	うち、減価償却額	( 5,460 )
資産売却差額	0	債務保証損失	1,488
事業収入	600	借入金等利息	9,431
雑収入	21,070	資産処分差額	3,123
		徴収不能額	0
帰属収入合計	889,555	債務保証損失引当金繰入額	330
基本金組入額合計	166,360	学校法人経費按分額	6,675
計	723,195	計	779,297
資金収支計算の前受金保有率（前年度）		当年度消費収入超過額	56,102
154.14%（258.29%）		前年度繰越消費収入超過額	382,160
		翌年度繰越消費収入超過額	326,058

[注] 補助金収入のうち国庫補助金70,493千円、地方公共団体補助金1,685千円

<概説>

学生数確保および資金繰り何れも堅調である。大学同様に人件費率の上昇傾向に警戒しつつも、引き続き、本学の特色づくりに鋭意努力するとともに経営戦略としてのグラウンドデザインとグランドデザインに基づく財政計画の立案も必要としている。6号館校舎完成後は、1・2・3号館の耐震改築を目指して、目減りした施設拡充引当特定資産の回復に向けて方策を講じる必要があると言える。また、将来の改築計画に向けた基本金組入の拘束性のある資金蓄積も検討を要する課題である。

ウ．新潟青陵高等学校

財源の中樞をなす生徒納付金収入が、対前年比で355万円の減額、補助金収入も1千736万円の減額決算となった。而も、納付金収入と補助金収入の大部分が人件費支出に費消されるという現実には依然として変わりはない。一方、第2体育館の改修工事の影響もあって対前年比で教育研究経費支出は1千106万円の増額、管理経費支出は481万円の増額決算となった。財政の改善方向に乏しく決算内容の厳しい状況は続く。平成16会計年度から始まった内部取引勘定（短期大学からの内部借入金）の累計額も今期末で2億7千988万円（対前年比5千232万円増）となった。前受金収入6千432万円の費消を加えると3億4千420万円の資金不足を意味する。また、消費収支計算での消費収支差額（赤字）が9千193万円となって慢性的な消費収支不均衡の状況から脱却できないでいる。累積赤字も19億円近くに膨れあがり高校財務の経営状況は悪化の一途を辿っている。

## 【資金収支】

単位 千円

収入科目	金額	支出科目	金額
納付金収入	366,806	人件費支出	692,060
手数料収入	17,210	教育研究経費支出	90,676
寄付金収入	1,970	管理経費支出	27,883
補助金収入	396,653	債務保証損失支出	0
資産運用収入	43	借入金等利息支出	2,269
資産売却収入	0	借入金等返済支出	88,860
事業収入	4,792	施設関係支出	481
雑収入	24,956	設備関係支出	5,482
借入金等収入	0	資産運用支出	0
前受金収入	64,320	その他の支出	3,831
その他の収入	81,655	学校法人経費按分額	7,743
資金収入調整勘定	92,918	資金支出調整勘定	1,474
内部取引勘定	281,615	内部取引勘定	227,558
前年度繰越支払資金	1,320	次年度繰越支払資金	3,053
計	1,148,422	計	1,148,422

## 【消費収支】

収入科目	金額	支出科目	金額
納付金	366,806	人件費	692,060
手数料	17,210	教育研究経費	151,180
寄付金	2,813	うち、減価償却額	( 60,504 )
補助金	396,653	管理経費	29,041
資産運用収入	43	うち、減価償却額	( 1,158 )
資産売却差額	0	債務保証損失	0
事業収入	5,161	借入金等利息	2,269
雑収入	24,956	資産処分差額	7,994
		徴収不能額	0
帰属収入合計	813,642	債務保証損失引当金繰入額	0
基本金組入額合計	15,292	学校法人経費按分額	7,743
計	798,350	計	890,287
		当年度消費収入超過額	91,937
資金収支計算の前受金保有率(前年度)		前年度繰越消費収入超過額	1,803,355
4.75%( 2.15% )		翌年度繰越消費収入超過額	1,895,292

[注] 補助金収入のうち地方公共団体補助金396,653千円

## &lt; 概説 &gt;

過去10数年間にわたって教員の更新代謝を促進してきた割りに人件費比率の改善がはばかしくない。改善の方策は、高校教育の魅力度を高めることによって得られる収容定員の確保と人件費の政策的抑制および退職金の割増加算制度の廃止に尽きると言える。高校発展の基礎財源(本来、積み立てていなければならない減価償却引当特定預金等が皆無の状態にある。)を費消している現下の状況から脱却する必要があると言える。参考までに内部取引勘定と前受金費消額の推移を以下に示す。

	内部取引勘定	前受金
16会計年度末	15,371千円	+ 57,600千円 = 72,971千円
	( 15,371千円)	
17会計年度末	63,877千円	+ 56,480千円 = 120,357千円
	( 48,506千円)	
18会計年度末	158,650千円	+ 63,680千円 = 222,330千円
	( 94,773千円)	
19会計年度末	227,559千円	+ 61,280千円 = 288,839千円
	( 68,909千円)	
20会計年度末	279,882千円	+ 64,320千円 = 344,202千円
	( 52,323千円)	

括弧内は、単年度相当額

また、消費収支計算での消費収支差額（赤字）は9千193万円となって消費収支差益率（消費収支差額 / 消費収入）ではマイナス11.52%となった。

## エ．新潟青陵幼稚園

園児数の増加で納付金収入が対前年比で306万円の増額となった。補助金収入も園舎の内装改修を対象とした越後のふるさと木づかい事業補助金の収納もあって207万円の増額となった。一方、人件費支出は退職金の計上で対前年比533万円の増額、教育研究経費支出は園舎内装工事費を含めて368万円増額、管理経費支出は288万円の減額決算となった。県私学振興会退職給付金の未収入金計上もあって内部取引勘定も悪化した

なお、消費収支計算での消費収支差額（赤字）は868万円となって消費収支差益率（消費収支差額 / 消費収入）はマイナス11.22%となった。

### 【資金収支】

単位 千円

収入科目	金額	支出科目	金額
納付金収入	43,761	人件費支出	58,300
手数料収入	124	教育研究経費支出	12,799
寄付金収入	0	管理経費支出	12,066
補助金収入	26,951	債務保証損失支出	0
資産運用収入	383	借入金等利息支出	0
資産売却収入	0	借入金等返済支出	0
事業収入	1,089	施設関係支出	0
雑収入	5,106	設備関係支出	51
借入金等収入	0	資産運用支出	0
前受金収入	1,775	その他の支出	893
その他の収入	417	学校法人経費按分額	774
資金収入調整勘定	7,640	資金支出調整勘定	905
内部取引勘定	50,436	内部取引勘定	38,424
前年度繰越支払資金	100	次年度繰越支払資金	100
計	122,502	計	122,502

【消費収支】

収入科目	金額	支出科目	金額
納付金	43,761	人件費	58,300
手数料	124	教育研究経費	14,684
寄付金	240	うち、減価償却額	( 1,884 )
補助金	26,951	管理経費	12,320
資産運用収入	383	うち、減価償却額	( 254 )
資産売却差額	0	債務保証損失	0
事業収入	1,089	借入金等利息	0
雑収入	5,106	資産処分差額	2
		徴収不能額	0
帰属収入合計	77,654	債務保証損失引当金繰入額	0
基本金組入額合計	258	学校法人経費按分額	774
計	77,396	計	86,080
資金収支計算の前受金保有率(前年度)		当年度消費収入超過額	8,684
5.63% ( 4.50% )		前年度繰越消費収入超過額	320,782
		翌年度繰越消費収入超過額	329,466

[注] 補助金収入のうち地方公共団体補助金26,951千円

<概説>

資金収支計算、消費収支計算何れも例年の構造に大きな変化はない。しかし、決算規模も小さく見落としがちであるが、悪化の度合いは深刻である。

参考までに内部取引勘定と前受金費消額の推移を以下に示す。

	内部取引勘定	前受金	
19会計年度末	38,424千円	+ 2,220千円	= 40,644千円
	( 9,768千円 )		
20会計年度末	50,436千円	+ 1,775千円	= 52,211千円
	( 12,012千円 )		

括弧内は、単年度相当額

3) 当該年度の主な事業の目的・計画

ア．新潟青陵大学

本学は、看護学科と福祉心理学科連携のユニークな教育体系の下に医療福祉面での地域社会に貢献できる人材養成という実学教育の実現を目指している。

看護学科では、看護学に関する専門の知識と技術を教授・研究し、広く深い教養と豊かな人間性を培うことによって、看護の基礎的諸能力を修得させることを目指し、国際社会において貢献することのできる有為な人材を育成することを目的にしている。これらの目的を実現のため「人間・生命の尊厳を守る意識を培い、自己の資質の向上に努める能力を養う。他者を尊重し、自己をも尊重する建設的な人間関係を形成する能力

を養う。看護に必要な知識・技術を学習することによって、よりよい看護実践ができる基礎的能力を養う。看護の諸現象について、論理的な思考のもとに、適切な情報の収集、科学的な分析、理論的な判断を用いて、有効な対応を考察できる能力を養う。専門的知識・技術を用いて、科学的な根拠に基づく安全・安楽な援助を提供できる能力を養う。社会における看護が担うべき役割を認識し、保健医療福祉領域の専門職および地域の人々との協力・連携のもとに、看護の発展に寄与する能力を養う。国際的な視野をもち、創造的な思考を深め、専門職業人として社会に貢献できる能力を養う。」の教育目標を掲げている。また、看護学科では看護師と保健師の一貫養成を行い、希望者には助産師もしくは養護教諭一種免許状を取得できるプログラムを用意している。

福祉心理学科では、本学の教育理念である「生命尊重・人間尊重の理念に基づき、国民の福祉と健康を支え、全人的な視点からこれを保障するという社会の要請に応えるとともに、クオリティ・オブ・ライフ（QOL）の向上を実現すべく、看護学科と福祉心理学科の連携のもとに教育・研究を行い、医療福祉面での地域社会に貢献できる人材の養成」を実現するため「人間の命と尊厳を守る力を育てる。人間を支えるための土台を識（し）る。人間を見つめ、社会との関連を考える。人間や地域と関わっていく精神を学ぶ」の教育目標を掲げている。また、本格的な少子・高齢社会の進展に対応するため、保健、福祉、心理、医療に関する幅広い視点を兼ね備えた社会福祉士、精神保健福祉士、認定心理士の養成の他、介護福祉士、保育士、カウンセリング実務士、高等学校福祉科、公民科の教員養成のプログラムを用意している。

大学院臨床心理学研究科では、臨床心理学に対する精深な学識を基に、広い視野をもって心理臨床の場に臨める、「心の専門家としての高度専門的職業人」「地域や文化に職務を通して貢献できる高度専門的職業人」「実践的で有効な援助が可能な技術と人格を備えた高度専門的職業人」の育成を目指している。さらに、大学院に研究生制度を置くことにより、高度専門的職業人としての卒後教育が可能となり、平成20年4月から始まる（平成20年度には7人を予定）。なお、日本臨床心理士資格認定協会による第一種指定大学院の必備の施設である新潟青陵大学大学院臨床心理センターは、平成18年4月に開設している。

#### イ．新潟青陵大学短期大学部

人間総合学科人間総合コースは、学生の興味・関心・取得希望資格等に応じた多様な履修形態を可能にしたことを特色としている。幅広く学べる自由と目的別に集中して体系的に学ぶことを同時に満足させるために、きめ細かな履修指導を最重要課題にしている。認定資格である衣料管理士、ビジネス実務士、フードスペシャリスト等々、および、対策授業である検定試験により取得可能なカラーコーディネータ、医療事務、国内旅行業務取扱管理者等々の多様な職業に必要な知識と技能を授け、幅広い分野において活躍できる人材の育成を目的としている。また人間総合学科介護福祉コースは、介護に関する知識と技術の習得を目的とした厚生労働省が指定する介護福祉士養成施設であって、あ

たたかい心を持った「介護のスペシャリスト」の育成に努めている。また、両コースとも社会人として協調性ある人材の育成という見地から「基礎ゼミ」や「社会生活とマナー」等々の授業を核にしてマナー指導の徹底を期している。

幼児教育学科は、幼稚園教諭と保育士の養成を目的にしている。教育基本法と児童福祉法の理念に基づき、将来を担う子どもの保育と教育の向上を目指して、ひとり一人の子どもの最善の利益のために努力し、自らを成長させる人間性豊かな保育者を育成することを教育理念に掲げ、学科の全教員の共通理解の下で学生をきめ細かく指導する体制をとっている。また、学科が目指す質の高い保育者養成が、保育現場からの支持と高い評価を得られるよう努めている。さらに、社会人としてのマナー指導も徹底して行うことにしている。

#### ウ．新潟青陵高等学校

恵まれた自然環境の中にある新潟青陵高等学校は、生徒一人ひとりの豊かな人間性を育むとともに、生徒一人ひとりの多様な進路希望をかなえるための教育活動の一層の展開を図る。

「学力の向上を目指して」

授業時間を45分から50分に改めることにより総授業時間数を増やし、授業時間の確保、各教科科目の精選を行い、基礎学力の定着に努める。また、生徒の多様な進路希望を叶えるべく、普通科においては、これまでの総合進学コースに 類・ 類を設け、類においては大学・短大・専門学校・就職とさまざまな進路希望を持つ生徒の自己啓発を促進するために「福祉基礎」「スポーツと健康」「情報リテラシー」「造形表現」「食物と健康」の5つの学校設定科目の何れかを選択し、2年間履修できるようにした。

類は大学進学を志望する生徒を対象に、主として文科系科目を充実させ、3年次には学校設定科目として表現、科目「小論文セミナー」を設け、コミュニケーション能力・表現能力が高められるよう配慮する。特別進学コースはこれまで同様に主要5教科の修得に努め、国公立大学・中堅難関私立大学への合格を目標とする。生活服飾科においては、家庭科の専門科目に対する知識の修得と、幅広い教養を身につけ、本校の歴史と共に歩んできた学科に相応しいものとなるよう努める。

「社会に有為な人材の育成を目指して」

社会人として有用な基本的な生活習慣について、家庭と連携してその醸成に努める。欠席、遅刻、欠課の減少に努め、規律正しく明るく活発な高校生活を過ごせ得るよう、健康管理の徹底と清掃活動を通しての環境保全意識の向上、さらには健全な生活行動の奨励に努める。

「開かれた学校づくりを目指して」

新潟青陵高等学校が生徒、保護者、卒業生、受験生、受験生の保護者を始めとする様々なステークホルダーの満足度を高め、また、新潟青陵高等学校の社会的責任を高めるために、中学生の体験入学、体験授業、クラブ見学等の参加型プログラムの学校説明会

の充実、学校通信、学年だより、進路だよりなどの発行やホームページの充実を通して、教育をめぐる様々な情報の開示に努める。

#### エ．新潟青陵幼稚園

シュタイナー教育が目指す、「真に思考力のある自立した人間」となるために、幼児期にはその基礎となる意志、感性、感情を育てることが求められている。本年度の教育目標は、意志のもととなる『意欲を持って生活する子ども』とし、この実現のため、次の4つの子どもの姿を目指し取り組む。

##### 「落ち着いた子ども」

静と動のバランスの取れた一定した生活リズムにおいて、子どもの情緒の安定をはかり、自立の基礎となる基本的な生活習慣を身につける。また、子ども自身が持っている想像力を発揮できるように自然素材の教材や環境を構成し、自ら遊びを創造する力を育てる。

##### 「友だちと遊ぶ子ども」

近年、人との関わりが苦手な青少年が増えている現状を踏まえ、人間関係の発達に重点をおく。遊びを楽しむ過程において友だちと積極的にかかわり、自分の考えを話し、友達の考えを聞こうとし、友だちと折り合いをつけるために話し合うことができる子どもを育てる。また、集団生活におけるルールを守ることによって、お互いが気持ちよく生活することができることに気づかせ、ルールを守ろうとする態度を養う。

##### 「思いやりのあるやさしい子ども」

子どもどうしの気持ちを保育者が伝える役割を果たし、子どもがお互いの気持ちを知り、助けようとする気持ちを育てる。園周辺の自然環境を利用し、自然に親しみ興味関心を持ち自然の変化や美しさに感動する豊かな感性を育む。

##### 「よく考え判断し行動する子ども」

やりたい気持ちを実現することができる環境を作り、子どもが満足感を味わうことができる経験を積み重ねることができるようにし、目的を持って物事に取り組み考え工夫する力を育てる。

#### 4) 当該計画の進捗状況等

##### ア．新潟青陵大学

##### <看護福祉心理学部>

本学は看護福祉心理学部に看護学科及び福祉心理学科を置き、統合し、専門職としての看護職及び社会福祉従事者の養成を目的としている。いわば、福祉に強い看護職、看護に強い社会福祉従事者を育成する学部構成を特色にしている。看護並びに福祉心理の両学科専攻生が体系的に共通に学ぶ教養基礎科目と学部共通の専門基礎科目とそれぞれの学科の専門科目或いは臨地実習、卒業研究などの体系的な学習を通して所要の成果を目指して鋭意努力を重ねてきた。その成果の一つである国家試験或いは就職

状況を次に列記する。

国家試験において看護学科では、看護師に80人、保健師に89人、助産師に17人が合格した。合格率は、看護師100.0%（昨年89.3%）、保健師98.9%（昨年77.7%）、助産師の合格率は100%（昨年100%）となった。なお、看護師は大学新卒の全国平均97.5%を上回り、保健師も全国平均98.5%のところ本学は98.9%と上回った。低成績の学生に対する適切な国家試験対策と4年次までの普段の学習成果の厳密な評価が功を奏したと言える。引き続き100%の合格率を目指す。

一方の福祉心理学科では、既卒者を含めて社会福祉士に45人、精神保健福祉士に13人が合格した。新卒者の合格率は、社会福祉士39.1%（昨年28.4%）、精神保健福祉士75.0%（昨年50.0%）の結果となって、前年に比べてかなりの合格率アップとなった。

引き続き、資格取得を目指す全ての学生がただ漫然と受験することのないように、学生の進路との相談等をきめ細かく行い、資格取得が必須である学生を中心に、学力の低い学生も含めてきちんとした対策を実行するとともに、卒業生への支援も視野に入れて、合格率の向上を目指している。

就職の状況は、次のとおりである。

#### 【職業紹介状況】

項目	看護学科			福祉心理学科			計		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
就職希望者数	4	83	87	30	95	125	34	178	212
就職決定者数	4	83	87	29	91	120	33	174	207
就職率(%)	100.0	100.0	100.0	96.7	95.8	96.0	97.1	97.8	97.6

#### 【看護学科】

	看護師	保健師	助産師	養護教諭	その他	計
県内	34	6	11	6	-	57
県外	18	4	4	4	-	30
計	52	10	15	10	-	87

#### 【福祉心理学科】

	生活相談員	生活支援員	介護職	P S W	M S W	保育士	心理・児童他	一般企業等	計
県内	5	11	27	2	1	12	6	46	110
県外	-	-	1	-	-	1	2	6	10
計	5	11	28	2	1	13	8	52	120

#### < 概説 >

就職率は97.6%（前年98.0%）となった。就職先の内訳で見ると看護学科は、看護師59.8%、保健師11.5%、助産師17.2%、養護教諭11.5%の割合である。また、福祉心

理学科は、福祉関係職種56.7%、一般企業等43.3%の割合である。福祉職から一業企業等に就職を希望する学生が近年多くなってきている。一般企業への就職活動の時期は、福祉職とは違って早く、而も、競争が激しいため、早期から進路に対する明確化、動機付けをしっかりとサポートし、対応して行く必要がある。

なお、就職状況の中で就職を希望する学生の即戦力化が求められる一方で、経済のグローバル化や厳しい経済状況により正規雇用が減少しつつある。加えて労働条件面により優秀な人材が福祉職から一般企業に徐々に移動しており、福祉関係の雇用環境の改善の声もあるが、暫くは今までの状況が続くと見られる。また、福祉の職場では、就職者を育てながら職場の理念の実現を図ってきたことを考えるとパートや非常勤雇用の中で、研修や教育が十分行われるのか、利用者支援のプロを育てる立場から考えると、雇用のあり方について養成校としても意見を述べ、改善を求めて行くことも必要である。

#### < 大学院臨床心理学研究科 >

本学大学院にあっては、専任教員による教育に限らず、地域で活躍している臨床心理士からの講義・実習指導や大学院附属施設である臨床心理センターで市民の相談活動（教員の指導を受けながら）を行うなど、地域に根ざした実践活動ができる心の専門家を目指して鋭意努力を重ねてきた。

なお、新しく整備された研究生制度を利用したものは1期生の10人中7人で、卒後教育と資格試験対策に生かされている。また、財団法人日本臨床心理士資格認定協会による臨床心理士合格率（平成20年度）は78%であり、全国平均65%を上回る成績であった。

次に1期生の就職状況は、精神科病院4人、スクールカウンセラー2人、福祉施設3人、心理相談センター受付業務1人で、6人が常勤職を得ており、好調な就職先の確保ができた。

#### イ．新潟青陵大学短期大学部

人間総合学科は、多岐にわたる職業専門教育を可能とする人間総合コースと介護福祉士資格を取得できる介護福祉コースを擁し、いずれも職業教育、専門教育に重点を置きながらも、これまで短期大学が行ってきた教養型教育を生かし、知的に柔軟な職業人養成を目指している。1年次の早い段階から、自らの興味や関心、能力・適性を希望する職業に結びつけて科目履修ができるような配慮がなされ、学生の勉学へのモチベーションを高めている。また、煩雑化する履修指導、学生指導、および進路支援などについては、アドバイザー制、教学支援システム（N-COMPASS）などを活用して学生へのモニタリング（観察）を行い、必要に応じて適切なカウンセリング（相談）、メンタリング（指導）を実施する体制を整えている。これらの成果は、近年の就職および進学実績の向上に現れている。

幼児教育学科にあっては人間性豊かな保育者を養成することの教育理念の下に「生命に対する畏敬の念を持ち、広い視野と慈しみの心で、人間及び子どもの本質を理解できる能力を養う。さまざまなものに共感する心、それを表現する力を養うことにより、豊かな感性と創造性を育む。保育や子育てを取り巻く現実を直視し、主体的かつ創造的に保育を実践できる能力を養う。」という教育目標を掲げて様々な取り組みと実践を行った。この成果は、県内の関連施設にくまなく卒業生を送り出し、例年、100%近い就職率を維持している実績に反映されていると言えよう。

就職の状況は、次のとおりである。

【職業紹介状況】

項目	人間総合学科			幼児教育学科			計		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
就職希望者数	8	194	202	6	118	124	14	312	326
就職決定者数	8	184	192	6	118	124	14	302	316
就職率(%)	100.0	94.8	95.0	100.0	100.0	100.0	100.0	96.8	96.9

<概説>

本学では、学生に対して、キャリア教育の観点から、入学時より進路・就職支援関連のカリキュラムを複数用意し、更に適宜就職活動をサポートする各種事業を実施することで、就業意識の向上と職業理解、就職活動への積極的な取り組みを促した。また、保護者を対象とした進路・就職をテーマとした懇談会、学生と教員および就職課スタッフとの複数回にわたるカウンセリング機能を強化した個人面談、県内主要企業人事関係者を外部特設会場に一同に集めた本学合同企業説明会などを実施し、家庭・学生・大学・企業間の関係を密にしながら、最新の就職に関する情報を共有することで、急激な景気下降局面において厳しさを増した就職活動を全面的に支援した。

ウ．新潟青陵高等学校

平成20年度新入生383人を迎えてスタート。新入生は入学式早々、高校生活の基本的な事項を学ぶことを目的としたオリエンテーション合宿を実施した。生徒の一日は始業前の朝学習から始まる。1年生は国語、数学、英語の基本的な問題を解くこと、2・3年生は国語・数学・英語の他、地歴公民、修学旅行の事前学習などに取り組む。今年度から1校時45分を50分とし、総授業時間数増を図った。

普通科特別進学コースは7限終了後、平日講座を受講する。月・火・木・金の4日間(16:40～17:10)、国語・数学・英語・理科・地歴公民へのより深い理解を求めて実施した。土曜日は土曜講座、サテライン講座で学力の向上、模擬試験対策に取り組む。夏期休業中には3泊4日の勉強合宿を実施し、すがすがしい環境のもとに勉学に励む。

普通科総合進学コース、生活服飾科では教科指導の他に小論文指導、平日講座、受験講座を実施。生活服飾科は青松祭(文化祭)に向けてファッションショーの作品製作に

取り組んだ。また、全国家庭科技術検定試験和服・洋服・食物1級合格者（3冠王）が6人と、県下でも類を見ない成果を上げた。

部活動においては、卓球、バドミントン、弓道、フェンシングの各部が県大会優勝を果たし、インターハイに出場した。バドミントン部は24年ぶりに全国高等学校選抜バドミントン大会で、3位入賞を果たした。

進路の状況は、次のとおりである。

【卒業生進路状況】

科	進路先	進 学					就 職	その他	計
		大 学	短 大	医療系専門	専修各種	公共職業 能力開発施設			
普 通	男	32	7	2	15	5	5	5	71
	女	52	53	12	45	-	18	12	192
	計	84	60	14	60	5	23	17	263
生活服飾(女)		1	8	-	11	-	9	10	39
計		85	68	14	71	5	32	27	302

< 概説 >

進路の状況は、次のとおりである。

【普通科総合進学コース】

新潟大学2人（教育1人、人文1人）、新潟青陵大学8人（看護4人、福祉心理4人）、新潟医療福祉大学6人、新潟国際情報大学15人、新潟薬科大学5人、東京電機大学、日本大学、大東文化大学、拓殖大学、東京農業大学、東北福祉大学、玉川大学各1人

【普通科特別進学コース】

新潟大学1人（人文）、茨城大学1人（農）、新潟青陵大学2人（看護1人、福祉心理1人）、新潟医療福祉大学2人、新潟国際情報大学、新潟薬科大学、立命館大学、亜細亜大学、東海大学、神奈川大学、青山学院女子短期大学各1人

【生活服飾科】

杉野服飾大学、文化女子大学短期大学部各1人

平成20年度の進学率（大学・短期大学）が50.7%と過去最高となった。（普通科は54.8%）一年次より進学意識を高めるために行ってきた職業講話、大学の教員による模擬授業、進路講演会、進路説明会等の指導が功を奏したと考えられる。安易に専門学校を選択せず、大学・短大に挑戦する生徒が増加した結果と考えている。

昨秋からの経済不況を反映し、県内大学志向が強く、総合進学コースにおいては新潟医療福祉大・新潟国際情報大・新潟薬科大の合格者数が飛躍的に伸びた。しかし、推薦入試における合格者が依然として多く、今後の課題は一般入試での合格を勝ち取るようにしていくことである。その中であって、特進コースの国立茨城大学一般入試での合格は明るい材料であった。

就職は一層厳しさを増し、これまで4年間就職達成率100%であったが、今年度は全国的に問題となった内定取り消し該当者が本校でも1人あり、残念なことであった。

## エ．新潟青陵幼稚園

本年度は当園の教育の基礎となるシュタイナー教育が、保護者の間にも浸透し、シュタイナー教育をさらに深めて欲しいという要望も多く聞かれるようになった。幼稚園と家庭との協力関係が築かれたことは、人格の基礎としての力を育むのに良い効果があった。

### 【主体的に遊びを創造する力】

幼児期にふさわしい教材、自然の素材を用意し、幼児がそれらの教材を自ら用い、遊びを創造していくことができる環境を整えていたところ、幼児は一つの自然木を、パンに見立て、電車に見立て、アイロンに見立てるなど、幼児の見立ての力を使い、自らの遊びに必要なものを想像によって生み出し、変化させ、自らの想像の世界を作り上げていた。また、周辺の自然環境に触れる機会を多くし、散策を実施したところ、自然に対して興味・関心をもった姿が見られた。自ら意欲を持って行動する経験により、他児の作品を大切にするなど、作った人の気持ちをも思いやる心の成長が見られた。

### 【人間関係の基礎的な力】

友だちと遊ぶにはお互いの意見の食い違いに気付き、自分の気持ちを言葉に表して、相手に伝えるということが必要になる。保育者は、幼児が友だちとぶつかり合っているときに、言葉の発達が不十分な幼児の気持ちを推測し言葉に表して、相手に伝えることができるように援助し、幼児が相手の気持ちを知る経験ができるようにしてきた。これら様々な場面をとおして、幼児が人間関係の経験を積み重ねることによって、他児の意見を聞き、且つ、自分の気持ちに折り合いをつけるということを学んでいた。幼児は、遊びをより面白くするには、友だちと気持ちを合わせ、協力することが必要であることを知り、多くの葛藤場面を乗り越えて、友だちとの関係を作っていくとする姿が見られた。葛藤を乗り越えて遊びを継続することは、人と人とが共にあるうとする姿であり、そこに人との関係を築こうとする姿、人との関係を喜ぶ姿が見られた。こうした姿からは、友だちと心の深いところでつながろうとする人間関係の力が育っていることが分かる。

また、20年度は自然に触れる体験の重要性を考え、教員が自然に対してどのような意図を持って保育に当たることが必要であるか研修をしてきた。事例をもとに研修を重ねた結果、保育者が意図を持つか否かによって、子どもたちが環境にかかわる意欲に変化があることが分かった。これは自然の領域のみでなく保育全般にかかわることであるが、幼児はそばにいる大人がどのような考えを持っているかを感じ取る鋭敏な感覚をもっているゆえに、教員のあり方が問われる。このことを教員は常に意識し保育に当たることが重要との認識を共通に持った。幼児を主体とした保育とするために、および教員の資質を高めるために、今後も研修を継続したいと考えている。

## 5 財務の概要

### 1) 平成20年度決算額

#### 資金収支計算書（資金繰り表）

平成20年4月1日から平成21年3月31日まで

単位 千円

収入科目	金額	支出科目	金額
学生生徒等納付金収入	2,432,681	人件費支出	2,127,573
手数料収入	59,979	教育研究経費支出	463,567
寄付金収入	2,070	管理経費支出	230,097
補助金収入	734,804	債務保証損失支出	2,258
資産運用収入	7,941	借入金等利息支出	21,512
事業収入	13,043	借入金等返済支出	174,460
雑収入	61,601	施設関係支出	395,736
借入金等収入	150,000	設備関係支出	180,000
前受金収入	620,190	資産運用支出	502,315
その他の収入	248,766	その他の支出	24,362
資金収入調整勘定	661,206	資金支出調整勘定	14,537
前年度繰越支払資金	1,645,120	次年度繰越支払資金	1,207,646
収入の部合計	5,314,989	支出の部合計	5,314,989

#### 消費収支（損益）計算書

平成20年4月1日から平成21年3月31日まで

単位 千円

収入科目	金額	支出科目	金額
学生生徒等納付金	2,432,681	人件費	2,116,413
手数料	59,979	教育研究経費	653,085
寄付金	3,633	管理経費	240,449
補助金	734,804	債務保証損失	1,488
資産運用収入	7,941	借入金等利息	21,512
資産売却差額	0	資産処分差額	14,020
事業収入	13,411	徴収不能額	0
雑収入	61,601	債務保証損失引当金繰入額	330
		消費支出の部合計	3,047,297
帰属収入合計	3,314,050	当年度消費収入超過額	201,950
基本金組入額合計	468,703	前年度繰越消費収入超過額	2,023,425
消費収入の部合計	2,845,347	翌年度繰越消費収入超過額	2,225,375

貸借対照表

平成21年3月31日

単位 千円

科 目	金 額	科 目	金 額
固定資産	8,178,509	固定負債	1,001,970
有形固定資産	7,117,481	長期借入金	655,350
土地	1,531,188	退職給与引当金	344,270
建物	4,277,822	債務保証損失引当金	2,350
構築物	83,619	流動負債	806,817
教具校具及び図書	1,224,852	短期借入金	123,690
その他の固定資産	1,061,028	未払金	14,750
流動資産	1,318,576	前受金	620,190
現金預金	1,207,646	預り金	48,187
預り資産	38,935	負債の部合計	1,808,787
未収入金	67,351	基本金	9,913,673
販売用品	369	基本金の部合計	9,913,673
立替金	4,169	翌年度繰越消費収入超過額	2,225,375
前払金	106	消費収支差額の部合計	2,225,375
資産の部合計	9,497,085	負債・基本金等の部合計	9,497,085

2) 経年比較等

ア、貸借対照表

比 率 ( × 1 0 0 )		16年度	17年度	18年度	19年度	20年度
消費収支差額構成比率	$\frac{\text{消費収支差額}}{\text{脚注(a)}}$	20.2	19.9	19.4	21.9	23.4
基本金比率	$\frac{\text{基本金}}{\text{脚注(b)}}$	89.7	91.3	92.0	92.3	92.2
固定比率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{脚注(c)}}$	109.3	103.3	100.4	100.4	106.4
固定長期適合率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{脚注(d)}}$	93.8	90.4	88.7	88.6	94.1
流動比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$	159.7	187.2	205.1	215.8	163.4
前受金保有率	$\frac{\text{現預金}}{\text{前受金}}$	203.7	254.0	279.7	277.0	194.7
総負債比率	$\frac{\text{負債}}{\text{総資産}}$	22.1	21.2	20.2	19.6	19.0
負債比率	$\frac{\text{負債 - 前受金}}{\text{総資産}}$	15.6	14.7	13.7	13.2	12.5
基本金実質組入率	$\frac{\text{脚注(c)}}{\text{脚注(b)}}$	71.1	72.8	88.4	72.5	88.5

a = 負債 + 基本金 + 消費収支差額    b = 基本金 + 基本金未組入額  
 c = 基本金 + 消費収支差額        d = 基本金 + 消費収支差額 + 固定負債

イ、消費収支計算書

【人件費比率】

年度	大 学	短期大学	高等学校	幼 稚 園	学園全体	比 率 ( × 100 )
20	54.12	58.39	85.06	75.08	63.86	人 件 費 帰 属 収 入
19	57.10	56.91	88.57	78.11	65.99	
18	56.64	56.28	94.37	74.07	68.28	
17	52.53	54.58	91.48	84.40	65.90	
16	50.25	63.95	82.68	76.76	64.96	

【教育研究経費比率】

年度	大 学	短期大学	高等学校	幼 稚 園	学園全体	比 率 ( × 100 )
20	21.01	18.55	18.58	18.91	19.71	教 育 研 究 経 費 帰 属 収 入
19	21.38	19.27	16.28	16.40	19.32	
18	20.78	18.97	15.81	11.19	18.67	
17	21.28	18.96	14.84	9.97	18.48	
16	21.03	20.34	15.13	12.50	18.87	

【管理経費比率】

年度	大 学	短期大学	高等学校	幼 稚 園	学園全体	比 率 ( × 100 )
20	7.53	8.30	3.57	15.87	7.26	管 理 経 費 帰 属 収 入
19	8.12	8.89	2.77	22.42	7.18	
18	8.44	8.37	3.18	16.93	7.38	
17	8.31	8.42	3.36	16.15	7.69	
16	9.93	8.55	2.59	17.52	7.79	

【消費収支比率】

年度	大 学	短期大学	高等学校	幼 稚 園	学園全体	比 率 ( × 100 )
20	103.63	107.76	111.52	111.22	107.10	消 費 支 出 消 費 収 入
19	104.63	110.34	110.56	117.45	108.16	
18	91.63	89.90	118.64	103.39	99.07	
17	91.89	89.64	115.21	112.20	100.13	
16	90.86	113.08	109.74	109.04	102.60	

【経常経費依存率】

年度	大 学	短期大学	高等学校	幼 稚 園	学園全体	比 率 ( × 100 )
20	103.54	100.60	242.71	196.70	125.26	消 費 支 出 納 付 金
19	103.54	99.91	257.12	195.20	127.68	
18	103.22	97.78	283.56	179.48	131.00	
17	98.67	96.89	281.35	213.10	131.10	
16	96.67	111.61	249.71	168.66	129.79	

【納付金比率】

年度	大 学	短期大学	高等学校	幼 稚 園	学園全体	比 率 ( × 100 )
20	81.37	87.08	45.08	56.35	73.41	納 付 金 帰 属 収 入
19	84.76	87.17	42.01	60.01	73.35	
18	85.43	87.35	40.55	57.60	72.74	
17	85.20	86.18	39.18	51.87	71.29	
16	85.94	84.60	40.48	64.51	71.40	

【寄附金比率】

年度	大 学	短期大学	高等学校	幼 稚 園	学園全体	比 率 ( × 100 )
20	0.03	0.01	0.35	0.31	0.11	寄 附 金 帰 属 収 入
19	0.06	0.00	0.30	0.59	0.12	
18	0.05	0.01	0.27	0.28	0.10	
17	0.17	0.02	0.24	0.51	0.16	
16	0.39	0.00	0.46	0.26	0.30	

【補助金比率】

年度	大 学	短期大学	高等学校	幼 稚 園	学園全体	比 率 ( × 100 )
20	15.59	8.11	48.75	34.71	22.17	補 助 金 帰 属 収 入
19	11.93	8.92	46.96	36.68	21.09	
18	11.34	8.63	45.66	37.13	20.82	
17	11.13	9.05	46.28	29.39	21.18	
16	9.80	9.61	50.90	33.61	22.68	

【基本金組入率】

年度	大 学	短期大学	高等学校	幼 稚 園	学園全体	比 率 ( × 100 )
20	18.71	18.70	1.88	0.33	14.14	基本金組入額 帰 属 収 入
19	16.12	21.07	2.31	0.26	13.41	
18	3.76	4.99	3.09	0.00	3.82	
17	8.51	6.85	4.33	1.49	6.66	
16	8.55	15.58	6.84	0.20	9.67	

3 ) 過年度の資産総額 ( 純資産額 ) の推移

単位 円

年度	基本金組入額	消費収支差額	純 資 産 額
20	9, 913, 673, 027	2, 225, 375, 469	7, 688, 297, 558
19	9, 444, 969, 615	2, 023, 425, 018	7, 421, 544, 597
18	9, 007, 477, 443	1, 763, 895, 699	7, 243, 581, 744
17	8, 883, 545, 610	1, 793, 091, 962	7, 090, 453, 648
16	8, 663, 703, 977	1, 789, 097, 684	6, 874, 606, 293